

2点吊・4点吊におけるネットクランプの容量選定基準

(P=Wとすると) 2点垂直吊の場合 $P_x = \frac{P}{2} = \frac{W}{2}$

2点角度吊(θ)の場合 $P_y = \frac{P}{2} \times K = \frac{W}{2} \times K$

(注) K(係数)は21頁の「角度吊における吊角度(θ)の変化とそれに伴う増荷重変化」を参照下さい。

吊区分 と使用 クランプ	クランプ容量の決め方					
	2点垂直吊の場合(P_x) (4点水平吊の場合)			2点角度吊(θ)の場合(P_y) (4点水平角度吊(θ)の場合)		
	吊上状態		算式	算式	吊上状態	
	正面図	側面図			正面図	側面図
堅吊方向 V-25型 V-25ELC型 MK-V型 FL-V型 FL-VA型 VB-103型 VL-102型	<p>(注) この吊方においてクランプは機構的に安全係数は5倍以上です。</p>		$P_x = \frac{W}{2}$	$P_y = \frac{W}{2} \times K$	<p>FL-VA型 } ※ VB-103型 } は VL-102型 } $\theta = 30^\circ$ 以内とする。</p>	
堅吊方向 EASY型	<p>(注) この吊方においてクランプは機構的に安全係数は20%程低下します。</p>		$P_x = \frac{W}{2} \times 1.25$	$P_y = \frac{W}{2} \times 1.25 \times K$		
横吊方向 EASY型 HV-N型 HV-K型 HV-G型 HA-110型 HA-60型 FL-H型	<p>(注) この吊方においてクランプは機構的に安全係数は5倍以上です。</p>		$P_x = \frac{W}{2}$	$P_y = \frac{W}{2} \times K$		
横吊方向 V-25型 V-25ELC型 MK-V型 FL-VA型 VB-103型	<p>(注) この吊方においてクランプは機構的に安全係数は50%程低下します。</p>	2点吊 	$P_x = \frac{W}{2} \times 2$	$P_y = \frac{W}{2} \times 2 \times K$		
横吊方向 FL-V型 HV-N型 HV-K型 HV-G型 HA-110型 HA-60型 FL-H型	<p>(注) この吊方においてクランプは機構的に安全係数は5倍以上です。</p>	4点吊 	$P_x = \frac{W}{4} \times 2$	$P_y = \frac{W}{4} \times 2 \times K$		